

2016年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	データベース演習						
科目区分	専門科目	単位数	専門	開講時期	2年次後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	大木優・高橋圭一						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係の正規化を行うことができる。</li> <li>・SQL言語を使って、データベースを操作することができる。</li> <li>・与えられた課題を基に、データベースを設計することができる。</li> </ul>						
日程と内容	9月17日 導入講義：講義全体の概要。演習環境の解説、基本設定。ACCESSの使い方 9月26日 ACCESSの使い方 ACCESS (0) 10月3日 ACCESS (1) 10月15日 ACCESS (2) 10月17日 ACCESS (3) 10月24日 ACCESS (4) 10月31日 データベースシステムのインストールと使い方 HSQLBの使い方SQL演習 (1) 11月7日 SQL演習 (2) 11月14日 SQL演習 (座学) (予備) 11月21日 SQL演習 (3) 11月28日 SQL演習 (4) 12月5日 SQL演習 (4) 12月12日 データベースの小テスト (1) 12月19日 机上演習 1月16日 データベースの小テスト (2)						
成績評価基準	定期試験				実技		
	臨時試験				部外評価		
	報告書・レポート				プレゼンテーション		
	課題 演習	100%	計			100%	
授業到達目標の達成度	到達目標に対しては概ね達成した。演習後半では、基本情報技術者の午後の問題の4回分を課題としているが、合格基準の60点を超える解答率は平均79%である。4つの問題で多くの学生が合格できるレベルというのは、座学、演習での授業・問題を解いている効果が出ていると考えている。						
反省点	演習をまじめにしているかの評価ができるような支援システムを導入して、真面目に取り組んでいるかなども評価を行ったが、使いにくい点があったので、改善したい。コピペができないエディタを使ったので、簡単なコピペで課題を出すことは少なくなった。教育効果はあると考えている。ただし課題にミスプリントなど少なくなかったため、減少させたい。						
来年度の計画	引き続き、演習をまじめにしているかの評価ができるような支援システムを導入して、真面目に取り組んでいるかなども評価する。さらに、他の人からのコピー＆ペーストができないエディタも使用を継続したい。この2つのプログラムはまじめに行っている学生からは不要なものであるが、不真面目な態度での受講は難しくなる。教室全体の演習への態度が向上すると考えている。基本情報技術者の午後の問題での点数でもその効果が表れていると考えている。						
授業評価アンケートに対するコメント	例年通り「課題が多すぎる。」という意見があった。ただし、机上演習では高得点者も多く、演習の効果もあったのではないかと考えている。しかし、総合評価は低い。これは、特に、下位の評価をした学生の影響が少なくないと思われる。データベース演習が苦手な学生への配慮を考えていきたい。						
履修登録者数	65名	定期試験 受験者数	65名	合格者数	54名	合格率	83%